

3月18日 CVV 定例会 議事要旨(案)

日時：2025年3月18日(火) 午後5時30分から

場所：(一社) 近畿建設協会会議室

参加者(順不同・敬称略)：26名(会員・会友)

古田・川谷・青木・祝・先本・下土居・鈴木巖・鈴木威・高田・武・田中・友廣・夏秋・石原・吉岡・野坂・南荘・宇野・今岡・古川・坂東・栗田・齋木・一ノ瀬・荒武・黒山
オブザーバー参加 大西宣二氏(新規加入者)

<定例会資料>

- ① 1月14日定例会議事要旨(案)(黒山)
- ② CVV 震災講演(関西大学)(鈴木威)
- ③ 2025年度 CVV いきいき(学童保育)の活動計画(案)(鈴木巖)
- ④ いきいき活動 橋の模型づくり(チラシ)(鈴木巖)
- ⑤ 日本建設業連合会関西支部若手技術者と CVV との交流会(案)(夏秋)
- ⑥ 大阪の河川・橋梁の座学・見学会等に関する関係者打合せ議事メモ(鈴木巖)
- ⑦ 市民向け広報・見学会企画グループ打合せ議事録(青木)
- ⑧ 来年度(2025年度)の会計運営方針について(高田)
- ⑨ 実務家教員育成研修プログラム(先本)

<主な議事>

代表のあいさつに引き続き黒山が資料確認した。次に、吉岡会員から新メンバーとして大西宣二氏が紹介され、同氏があいさつされた。その後の議事は以下のとおり。

1. 野坂会員が過日訪問したドイツなどの橋梁を写真、資料で紹介した(約40分)。
2. 川谷幹事長から鈴木威会員が関西大学での講演されたことを紹介され、同会員から講演概要(資料②)と学生レポートの内容が簡単に紹介された。震災関連の講演を来年度も実施したい旨が幹事長から報告された。
3. 資料③、④に基づいて、いきいき活動の次年度の活動方針と関係財団との協議内容が報告された。(鈴木巖)
4. 資料⑤により、日本建設業連合会関西支部若手技術者と CVV との交流会について、先方との協議内容等が報告された。(夏秋)
 - ・ 何人くらい集まるのか。実施時期は。(川谷)
→40人くらいと聞き、少し多いと感じたので2回に分けた。詳細は未定であるがグループ討議が可能な人数にしたいと考えている。5月末か6月初旬に第一回、秋か初冬に二回目としたい。(夏秋)
 - ・ 前回説明した NEXCO「防災エキスパート関西」での取り組みについて紹介した、CVV側の講演者は南荘会員で確定しているが、詳細は未定である。(夏秋、吉岡)
 - ・ 西宮市役所からは何の応答もない。(夏秋)
5. 資料⑥に基づいて、都島工業高校での「大阪の河川・橋梁の座学・見学会等」に関して、学校との協議内容が報告された。(鈴木巖)
 - ・ 何年生が対象か。(川谷)
→前回の計画案と同様、3年生で就職を希望されている学生が対象。(鈴木巖)

- ・ なぜ就職希望の学生だけなのか。(南荘)
→進学組とはカリキュラムが異なり、授業枠に組み込めないようである。(栗田)
- 6. 市民向け広報・見学会企画グループからの報告 (青木)
 - ・ 資料⑦に基づき本年度の活動内容を報告するとともに次年度の企画等が紹介された。(青木)
 - ・ 港大橋の上部に登るには管理者の同行が必要だと思うが。(川谷)
→職員同行が必須なので土日だと難しいかもしれない。また平日は工事で使用している。一般市民対象の見学会は高倍率だったが、EV は一回 10 名程度しか乗れない。管理者に当たってみるが、少し難しいかも知れない。(南荘)
 - ・ 昨年の経験からすると広報・開催周知が最も難しい。去年は橋建、建コンの協力があったから集まった。来年度は日建連にも協力を求めたい。(南荘)
- 7. 本年度の決算見込みと次年度の会計運営方針について (高田)
 - ・ 資料⑧に基づいて、本年度の決算見込みと次年度の会計運営方針が説明された。(高田)
- 8. その他
 - ・ 資料⑨に基づき舞鶴高専で実施の「実務家教員育成研修プログラム」が紹介された。(先本)
 - ・ 次年度からの役員について構想案が川谷幹事長から説明された。古田代表に代わり川谷幹事長が、幹事長には青木会員が就任予定。その他の役員構成やグループ構成は新幹事長らで今後調整する。(川谷)
 - ・ 活動グループの紹介をしてはいかがか。(南荘・祝)
→一斉メールでの発信を検討する。(黒山)
 - ・ 次回定例会、総会は5月27日(火)に実施する。会場は堺筋本町にある大阪産業創造館とする。4時から総会、その後定例会、懇親会を予定している。会場は1時から借りているので活動グループの会合やメンバーの話題提供・講演会で活用いただきたい。(黒山)
→日建連の講師役4名のリハーサルが良いのでは。(夏秋)
→開催を決定した。

文責：黒山